



令和7年度（2025）京都市立美術工芸高等学校経営方針

令和7年4月1日

1 教育理念・教育目標

自由快活な校風のもとで 多様性を尊重しともに高め合い 美の精神をもって 広く社会に貢献できる 高い理想をもった創造性豊かな自立した 青年を育成する。

- 多様なものごとに触れ美しさや本質を見出す「感じる心」を豊かにする
- 主体的に取り組み広い視野で柔軟に深く思考できる「考える力」を伸ばす
- 幅広い美術の知識や技能を学び自分の思いや考えを形にする「表現する力」を高める

2 スクールメッセージ その「わくわく」が、ありがたい未来をソウゾウする

3 重点目標

移転開校3年目を迎え本校での入学生が揃う完成年度を見据え、「学校グランドデザイン（スクール・ポリシー）」を踏まえた、本校のさらなる魅力化・特色化に向け、生徒の確かな成長のための教育活動を組織的に実践する。

(1) 教育者としての職責の自覚と不断の自己研鑽、働き方改革の推進

- ① 教育活動の基本は「授業」であることを認識し、「育てる生徒像」の実現に向けた徹底した授業改善と学習評価の改善を行う。
- ② 教職員は、信頼と共感に基づく組織作りと学校経営に参画する意識を高め、何事にも対話と協働により組織的に対応できる＜チーム学校＞体制を構築する。
- ③ 生徒の教育に携わる時間や、専門性を高めるための時間を確保するため、AI や外部人材の活用、学校行事の精選、事務処理等の時間短縮や職場環境の改善を図り、ワークライフバランスのとれた職場を目指す。

(2) 豊かな人間性の涵養と生徒一人ひとりを大切にする教育活動の推進

- ① 多様性を尊重し、ともに高め合い、美の精神をもって広く社会に貢献できる青年を育成する。
- ② 日常的に生徒をよく観察し、生徒のニーズや課題を的確に掌握、その情報を共有し、時期を逸することのない組織的な対応を行うことで、生徒自身が自己の心身をコントロールする力、自己理解や他者理解の意識を育成する。
- ③ ルールやモラルなど社会規範を遵守させるとともに、基本的生活習慣を確立させ、生徒の主体性と社会性の育成を目指す。
- ④ お互いの価値観を認め合う等、全教育活動を通して道德教育をより一層推進する。

(3) 主体的・対話的で深い学びにつながる学習意欲の育成とキャリア教育の推進

- ① 学校グランドデザインにある「CAREER PRODUCE」の実現に向け、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」や「生涯にわたり自ら探究し、学び続けるための力の基盤をつくる」教育活動において積極的に意識醸成を図る。
- ② 本校の特性を生かし「美」を通して様々な学びに横断的に取り組む「BIKO steAm」を意識した教育活動の実践を行い、多様な学びへの意欲・関心を高め、基礎学力の定着のもとに美術の力をさらに伸ばすとともに、ソウゾウ（想像・創造）に向かう力を育成する。
- ③ 「アートと社会をつなぐ」教育を実践するとともに個に応じた指導を行い、学びの成果を実感し将来展望を描くことで学習意欲をさらに向上させ、キャリア発達を適切に支援する。
- ④ ICT 環境を十分に生かした教育活動に取り組み、生徒たちの将来を考えた新しいカリキュラムの開発や進取果敢な教育実践を図る。

(4) 地域に愛される学校づくりの推進

- ① 京都にある美術専門高校としての存在意義を重視し、「開かれた教育課程」の実現を推進する。
- ② 学校内外の繋がりを通して、積極的に外部機関との情報交換や交流を行い、授業や特別活動、課外活動において連携・協働しながら、教育活動を行う。
- ③ 教育活動や学校生活の活動報告などの最新情報を積極的にホームページや説明会で発信する。
- ④ 本校の教育活動について、教職員による自己評価や生徒・保護者による学校評価アンケートを実施し、その結果を関係者や外部に公開するとともに、目標の達成状況や取組状況等について検証を行い、次年度の教育活動にフィードバックする。